

## 令和元年度仮決算概況

### 1. 損益の概要

- コア業務純益は3期ぶりの増益となりました。

利鞘の縮小により資金利益は減少したものの、経費の削減と役務取引等利益の増加によりコア業務純益は3期ぶりに増加しました。

役務取引等収益ならびに有価証券関係収益の増加により経常収益が増収となった一方で、保守的に計上した不良債権処理費用の増加により、経常利益、最終利益は5期連続の減益となりました。

＜単位：百万円＞

	令和元年 9 月期	平成 30 年 9 月期	増 減	増減率
経常収益	2,091	2,085	6	0.29%
資金運用収益	1,702	1,761	▲58	▲3.31%
有価証券関係収益	126	88	37	41.98%
役務取引等収益	224	210	14	6.64%
経常費用	1,993	1,967	25	1.31%
経 費	1,573	1,607	△34	△2.12%
不良債権処理費用	152	56	96	169.00%
コア業務純益	137	120	16	13.60%
実質コア業務純益	135	90	44	49.16%
経常利益	98	117	▲19	▲16.79%
当期純利益	88	128	▲39	▲30.70%

※不良債権処理費用は、個別貸倒引当金や貸出金償却等の個別債権に対する処理費用に、一般貸倒引当金、偶発損失引当金および償却債権取立益を加減しています。

※実質コア業務純益は、投資信託解約損益を控除しています。

※増減（率）欄のマイナス符号は、当該項目の減少が、業績の良化要因となる場合は「△」を、悪化要因となる場合は「▲」を付しています。

### 2. 預貸金の概要

- 預金残高は、前期末（31年3月末）比8億600万円（0.25%）増加し、3,139億2,900万円となりました。

低金利環境の長期化を反映し、個人の要払性預金への選好志向が続いていることから、要払性預金が28億6,100万円（2.37%）増加する一方で、定期性預金は20億5,500万円（1.06%）減少しました。

人格別の内訳では、個人預金が3億6,000万円（0.14%）、法人預金が3億4,100万円（0.67%）、公金預金が1億300万円（0.53%）それぞれ増加しました。

- 貸出金は、前期末比27億5,400万円（1.60%）増加し、1,747億6,100万円となりました。

低金利での獲得競争が激しくなるなか、創業や事業承継支援等の金融仲介機能の発揮に努めた結果、事業性資金が23億9,700万円(2.40%)増加しました。なお、個人ローンは2億3,500万円(0.63%)減少し、地方公共団体向けは5億9,300万円(1.67%)増加しました。

<単位：百万円>

	令和元年9月末	平成31年3月末		平成30年9月末	
		増減	増減率		
預金残高	313,929	313,123	806	0.25%	312,450
個人	243,256	242,895	360	0.14%	243,843
法人	51,274	50,932	341	0.67%	49,150
公金	19,398	19,294	103	0.53%	19,456
定期性	190,456	192,512	▲2,055	▲1.06%	198,824
要払性	123,473	120,611	2,861	2.37%	113,625
貸出金事業性先数	4,212	4,241	▲29	▲0.68%	4,291
貸出金残高	174,761	172,007	2,754	1.60%	172,041
個人ローン	36,520	36,755	▲235	▲0.63%	37,688
住宅ローン	25,453	25,774	▲320	▲1.24%	26,452
事業性資金	102,178	99,781	2,397	2.40%	98,338
地公体向け	36,062	35,469	593	1.67%	36,013
預貸率	55.66	54.93	0.73ポイント	1.32%	55.06

### 3. 不良債権額（金融再生法開示債権）の概要

●金融再生法に基づく不良債権額は、前期末比5,600万円(1.08%)減少し51億5,900万円に、不良債権比率も0.08ポイント低下し2.87%となりました。

<単位：百万円>

	令和元年9月末	平成31年3月末		平成30年9月末	
		増減	増減率		
不良債権額	5,159	5,216	▲56	▲1.08%	5,543
不良債権比率	2.87%	2.95%	▲0.08ポイント	▲2.71%	3.13%

### 4. 自己資本比率の概要

●自己資本比率は、前期末比0.33ポイント低下し13.01%となりました。

(国内基準)

<単位：百万円>

	令和元年9月末	平成31年3月末		平成30年9月末	
		増減	増減率		
自己資本額	19,165	19,092	73	0.38%	19,111
リスクアセット	147,264	143,095	4,168	2.91%	141,839
自己資本比率	13.01%	13.34%	▲0.33ポイント	▲2.47%	13.47%

## 5. 令和元年度業績予測

●通期では、ほぼ昨年並みの最終利益を見込んでおります。

<単位：百万円>

	令和元年度予測	平成 30 年度実績	増 減	増減率
経常収益	4,012	4,105	▲93	▲2.2%
コア業務純益	318	309	9	2.9%
経常利益	243	306	▲63	▲20.5%
当期純利益	207	200	7	3.5%

当金庫の「中間決算」は仮決算のため、監査法人の監査は受けておりません。

以上